

秋田県青少年交流センターの運営事業に関するサウンディング型市場調査 サウンディング結果（概要）の公表について

令和8年8月31日
秋田県教育庁生涯学習課

1 サウンディング実施の経緯

秋田県青少年交流センターについて、宿泊事業の再開を見据えつつ、今後の在り方について総合的に検討するため、サウンディング型市場調査を実施しました。

2 サウンディングの実施スケジュール

令和8年5月20日	サウンディング実施要領の公表
令和8年6月 3日	説明会の開催
令和8年6月12日	現地見学会の開催
令和8年7月16、17日	サウンディングの実施
令和8年8月31日	サウンディング結果（概要）の公表

3 サウンディングの参加者

- | | |
|----------------|----|
| (1) 説明会参加者 | 4者 |
| (2) 現地見学会参加者 | 3者 |
| (3) サウンディング参加者 | 2者 |

4 サウンディング結果の概要（参加者からの意見・提案等）

提案者	A者
運営形態等	「宿泊＋貸館」による運営（従来と同じ運営）
参画の形式	利用料金併用制の指定管理
利活用アイデア	・運営主体一元化によるランニングコストの圧縮 ・全世代交流・地域共生型健康増進拠点施設への展開 ・スポーツ合宿等のパッケージ誘致 ・スポーツやカルチャー事業を中心とした自主事業の展開による貸館稼働率の向上 ・中学校部活動移行支援や高齢者、障害者の活動支援 ・宿泊施設稼働率目標：50%
利活用する場合の課題や条件	・青少年特化の廃止 ・故障設備や経年劣化設備の機能回復

利用料金への意見	・ 青少年料金の廃止 (青少年料金設定を継続する場合は指定管理料の上積み) ・ シーズン別料金の導入等、柔軟な運営体制の確立
参画に向けた県への要望	・ 総合管理方式の導入（施設運営と維持管理を一体的に実施） ・ 指定管理料の継続的な確保と物価高騰時等の柔軟な対応 ・ 厨房設備等、老朽備品の更新 ・ 施設利用率向上に対する県教育委員会からのサポート
参画の意欲	・ 参画意欲あり

提案者	B 者
運営形態等	「宿泊＋貸館」による運営（従来と同じ運営）
参画の形式	利用料金併用制の指定管理
利活用のアイデア	・ スポーツツーリズムの推進 ・ スポーツ合宿等のパッケージ誘致 ・ 利用者の心身の健康サポート体制の構築 ・ 自主事業の展開による貸館稼働率の向上 ・ 屋外環境の整備による拠点化 ・ 宿泊施設稼働率目標：50%
利活用する場合の課題や条件	・ 都市計画法等、法規制の存在 ・ 故障設備や経年劣化設備の機能回復
利用料金への意見	・ 宿泊料金、貸館料金の一定程度の値上げ ・ 自主事業部分の料金制度の柔軟化
参画に向けた県への要望	・ 新規事業の運営に要する設備投資（補助を含む） ・ 貸出用プロジェクター等、老朽備品の更新
参画の意欲	・ 参画意欲あり

5 サウンディング結果を踏まえた今後の方針

今回のサウンディングを通じて、宿泊事業の再開及び貸館利用率の向上に繋がる事業提案や参画を高めるための条件などについて、貴重なご意見をいただきました。

今回のサウンディング結果を踏まえて、秋田県青少年交流センターの今後の在り方に関する検討を進めてまいります。